

糸島市補助金設計書

所管課 都市計画課

補助金名称	バリアフリー化設備整備事業補助金
区分	奨励・支援的事業補助
該当例規等	糸島市交通施設バリアフリー化設備整備費補助金交付規程

【長期総合計画体系】

基本目標 4 __ 快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり

政策 3 __ 交通環境の整備充実

施策 __ 便利で効率的、安全・安心な公共交通の充実を図る

1 補助の目的

市内において鉄道事業者が行う駅における交通施設バリアフリー化設備整備事業に対し、補助金を交付することで、公共交通機関における高齢者や障害者等の移動に係る安全性や利便性の向上の促進等を図るため。

H30～32年度は、九州旅客鉄道(株)が筑前前原駅、新駅、波多江駅ホームのバリアフリー化を促進するために、行う転落防止設備である「可動式ホーム柵」設置事業に対し、補助金を交付する予定。

2 成果指標

ホーム柵設置前後の転落事故の件数
設置前：2件（H23以降の確認分）
↓
設置後：0件（整備済駅）

3 補助対象事業・補助対象者

- 補助対象事業
交通施設バリアフリー化設備整備事業
（段差解消のための昇降機、転落防止設備、誘導用ブロックの整備等）
- 補助対象者
鉄道事業者（九州旅客鉄道(株)）

4 補助対象(外)経費

- 補助対象経費
ホーム改良工事、基礎工事、本体設置工事等
（参考：工事期間）
筑前前原駅：H30～32年度、新駅・波多江駅：H31～32年度

5 補助率・補助限度額、積算根拠

■ 補助率	1/6 以内		
■ 限度額	H30年度	筑前前原駅	212,500千円 × 1/6 35,416千円
	H31年度	筑前前原駅	216,800千円 × 1/6 36,133千円
	H31年度	新駅	73,700千円 × 1/6 12,283千円
	H31年度	波多江駅	170,025千円 × 1/6 28,337千円
	H32年度	筑前前原駅	219,400千円 × 1/6 36,566千円
	H32年度	新駅	26,300千円 × 1/6 4,383千円
	H32年度	波多江駅	260,525千円 × 1/6 41,437千円

6 補助期間（期間終了後の継続及び終了の判断は、必要性や成果等の検証により行う）

平成32年度まで